案件に関連する指摘・対応状況

国名：案件名
フィリピン：イフガオ州小水力発電計画
(1) 問題・指摘の概要
計画通りの発電能力を持つリクッド小水力発電所が建設されたが、発電所の稼働が不十分であり、定量的効果を示す発電端電力量（発電機が作る電力量）は目標年から事後評価年に至るまで、目標値を大きく下回ったとして、2020年度の事後評価において総合評価「D」となった。
(2) 原因
売電契約が未承認であることや、大雨による導水路などの土木施設の破損によるため、発電所の稼働が不十分である。
(3) これまでの対応及び現状等
施設・機材の状況を確認し、破損の原因・修復計画の策定をするとともに、売電契約等の承認に向けた側面支援を行うことを目的として調査を実施した。 調査の結果、旧地すべり区間の導水路の補修工事及び導水路施設への土砂流入・堆積を防ぐための対策工事が必要であることを、先方実施機関であるイフガオ州政府、監督官庁であるエネルギー省と確認し、施設応急対策の実施を決定した。 また、売電契約については2022年2月に承認を得て、同年11月より売電が開始されているが、商業運転のための適合性証明書の更新（水利権書、排水許可書、送電サービス合意書等）等、未完了の許認可があり、これら手続きに係る側面支援の必要性も確認した。
(4) 今後の対応・教訓等
損傷部分の工事及び未完了の許認可手続きに係る側面支援を実施する。 今後の教訓としては、発電所の許認可取り付けは地方政府が主体となるため、計画段階にて、実施主体の能力を勘案した各手続きの現実的な所要時間とリスクを十分に見積もり、また、計画段階にてリスクと評価された内容に対して、必要なモニタリングを行うとともに、適時改善方法を含む助言を行う。